

第 17 回伝統工芸木竹展 (第 1 回神戸展)

The 17th Exhibition of Traditional Wood and Bamboo Crafts



盛籠「笈」 大木淑恵 (文部科学大臣賞)

開催情報

名称	第 17 回伝統工芸木竹展 (第 1 回神戸展) — 全国の木芸・竹芸作家による公募展 —
会期	2019 年 5 月 18 日 (土) ~ 6 月 9 日 (日)
会場	竹中大工道具館 1F ホール
開館時間	9 : 30 ~ 16 : 30 (入館は 16 : 00 まで)
休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)
入館料	一般 500 円、大高生 300 円、中学生以下無料、 65 歳以上の方 200 円 ※常設展観覧料を含む
主催	日本工芸会、竹中大工道具館
後援	文化庁、兵庫県教育委員会、朝日新聞社、神戸新聞社、NHK 神戸放送局
公式サイト	https://www.dougukan.jp/special_exhibition/mokuchiku

お問い合わせ

「第 17 回伝統工芸木竹展 (第 1 回神戸展)」広報事務局 (竹中大工道具館内)
〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1
TEL : 078-242-0216 FAX : 078-241-4713
E-mail : mokuchiku@dougukan.jp

開催趣旨

このたび竹中大工道具館では、2019年5月18日～6月9日まで、企画展「第17回伝統工芸木竹展（第1回神戸展）」を開催いたします。

はっきりした四季と湿潤な気候によって良材に恵まれた我が国の木竹工芸は、技術的・芸術的に優れた日本独自の工芸として発展してきました。本展ではこの伝統を継承しつつ、今日の生活に即した作品を全国から公募し、厳選した入選作と重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品73点と遺作1点を一堂に展示します。

なお、本展はこれまで東京・日本橋三越本店にて開催されてまいりました「伝統工芸木竹展」の関西巡回展となります。

受賞作品

文部科学大臣賞	盛籠「罨」（もりかご「こだま」） 大木 淑恵
東京都教育委員会賞	楓造盛器（かえでづくりもりき） 河野 行宏
朝日新聞社賞	神代杉木画箱（じんだいすぎもくがぼこ） 馬淵 弘幸
日本工芸会賞	千筋捻花籃「高峰」（せんすじひねりはなかがこ「こうほう」） 磯飛 節子
木竹参与賞	樺造盛器（けやきづくりもりき） 佐竹 巧成
奨励賞 三越伊勢丹賞	亀甲紋盛籠「早瀬」（きっこうもんもりかご「はやせ」） 谷垣 勇男
奨励賞 日本工芸会木竹部会賞	神代樺彩線象嵌小箱（じんだいけやきさいせんぞうがんこぼこ） 桑山 弥宏

展示作品

受賞作品



1 | 盛籠「罨」 大木 淑恵
(文部科学大臣賞)



2 | 楓造盛器 河野 行宏
(東京都教育委員会賞)



3 | 神代杉木画箱 馬淵 弘幸
(朝日新聞社賞)



4 | 千筋捻花籃「高峰」 磯飛 節子
(日本工芸会賞)



5 | 樺造盛器 佐竹 巧成
(木竹参与賞)



6 | 亀甲紋盛籠「早瀬」 谷垣 勇男
(奨励賞 三越伊勢丹賞)

展
示
作
品



7 | 神代櫛彩線象嵌小箱 桑山 弥宏
(奨励賞 日本工芸会木竹部会賞)

重要無形文化財保持者（人間国宝）作品



8 | 束編花籃「喜」 藤沼 昇



9 | 柁割把ね編花籃「夕涼み」 勝城 蒼鳳



10 | 櫛造加飾挽盛器 川北 良造



11 | 櫛拭漆足付木皿 村山 明



12 | 楓拭漆箱「風紋」 須田 賢司

関連イベント

※イベントの日時・内容は変更になることがあります。
最新の情報は「第17回伝統工芸木竹展（第1回神戸展）」公式ウェブサイトにてご確認ください。

ワークショップ 寄木細工のブローチ

日時	2019年5月26日（日）10：00～14：00
場所	竹中大工道具館木工室
講師	三浦信一（日本工芸会正会員）
定員	大人12名（事前申込制、応募者多数の場合は抽選）
参加費	3,000円（別途入館料が必要）
申込締切	4月26日（金）必着

ワークショップ 筏底の菓子置き

日時	2019年6月2日（日）[1]9:30～12:00、[2]13:30～16:00
場所	竹中大工道具館木工室
講師	上野孝志（日本工芸会正会員）
定員	大人10名（事前申込制、応募者多数の場合は抽選）
参加費	2,000円（別途入館料が必要）
申込締切	5月8日（水）必着

セミナー 「技と心」セミナー[93] 木竹工芸の楽しみ

日時	2019年5月19日（日）14:00～16:00（13:30開場）
場所	神戸芸術センター会議室
講師	須田賢司（木工芸家・日本工芸会木竹工部会長）
定員	80名（事前申込制、応募者多数の場合は抽選）
参加費	無料（展覧会観覧の場合は別途入館料が必要）
申込締切	4月19日（金）必着

ギャラリートーク 重要無形文化財保持者（人間国宝）による
ギャラリートーク

日時	①2019年5月18日（土）11：00～／14：00～ ②2019年6月1日（土）14：00～
講師	①須田賢司（木工芸家・日本工芸会木竹工部会長） ②村山明（木工芸家・日本工芸会参与）

※当日先着順。参加者多数の場合は入場制限を行うことがあります。

※上記日程を除く、土・日曜日の11：00、14：00より出品作家によるギャラリートークを開催します。

関連イベント申し込み方法

ウェブサイトまたは往復はがきに下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブサイト

公式サイト (https://www.dougukan.jp/special_exhibition/mokuchiku) 内よりお申し込みください。

はがき

往信用裏面 ①イベント名（ご希望日時も）②参加者氏名（フリガナ）
③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤年齢

返信用表面 宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。

裏面は未記入のこと。

〔申込み先〕 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。

当館のご案内



日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

アクセス



山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
 市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
 シティ・ループ「12 新神戸駅前(2F)」下車徒歩約3分
 神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

広報用画像

- ・画像データ1～12 (JPEG) をご提供いたします。メールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

お問い合わせ

「第17回伝統工芸木竹展（第1回神戸展）」広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713

E-mail：mokuchiku@dougukan.jp

- ・読者プレゼントとして当館招待券ペア（2枚）5組を提供することができます。
- ・その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。